

### (仮)まちづくり基本条例の意義

#### ■行政の大きな課題

- 経済成長の歯止め
- 労働人口減少で税収減
- 公共投資優先で多大借金
- 国から地方への行政事務の移譲
- 交付税の減額（税源移譲も全額ではない）
- 住民生活の多様化による行政サービス拡大
- 住民の公共依存

財源ないのに  
サービス拡大！

自治体の生き残りのために、自治（まちづくり）のあり方を明確にし、市民と共につくるまちづくりを推進していくためのルールが必要

### (仮)まちづくり基本条例

- まちを元気にするための道具！
- 市民が使いやすく、広めやすいもの！
- このルールによってまちがどう変わるかが大切！

自治体（役所・議会・市民）のメンバーが役割をしっかりと果たし、山口市なりの全員野球のチームをめざして

**山口大好き！を実感できるまち**

《第1回市民会議における市長講話、松下啓一氏による『新しい公共とまちづくり基本条例』研修より》

### 次回

○日 時 平成 19年 月 日

○場 所

○プログラム

■前回の振り返り

■グループ討論

☆自己紹介

☆『まちづくり』の現状の課題

☆課題を掘り下げる

今なぜ『まちづくり』なのでしょう。これまでの『まちづくり』の課題は何なのでしょう。個人の経験を振り返り、その原因を掘り下げて共有していきます。

■全体発表

# 山口市 協働のまちづくり 市民会議

第2回

☆日 時☆

平成19年8月23日（木）  
18：30～20：30

☆場 所☆

山口総合支所 第10・11会議室

☆テーマ☆

『まちづくりの思いを出し合う』

☆本日のプログラム☆

18：30 スタート・あいさつ

18：35 前回の振り返り

18：40 運営方法について  
☆これからの進行について  
☆会議のルール・役割

19：10 グループで検討  
☆自己紹介  
☆テーマ：『まちづくり』  
『まちづくり』と聞いてイメージするもの、大切にしたいポイントなどをカードに記入・整理していきます

20：15 全体発表

20：25 次回に向けて

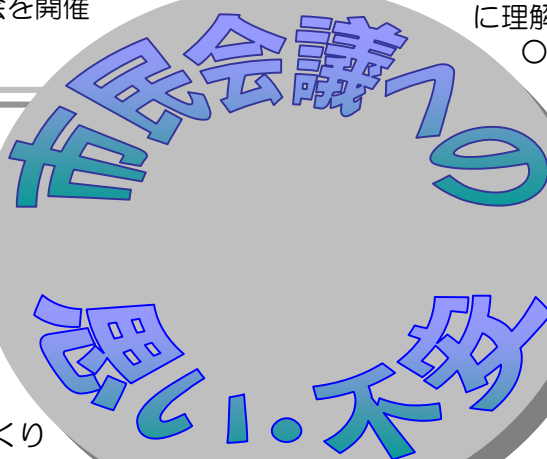
20：30 終了予定  
アンケート記入

■第1回（7/19）の市民会議での意見

- ☆ 意識共有のために記録・振り返りの手法を
- ☆ 法律のことはよくわからない。話が変な方向に進む可能性があるのでは
- ☆ 活発な議論のために、席のセッティング・グループ分の検討、KJ法の取り入れ
- ☆ 山口市をどうしたいのか共通理念が大切
- ☆ 自ら考え、実行する市民会議に！
- ☆ まずは、委員の目標を話し合っていきましょう
- ☆ 『山口市のまちづくりとは何か』を条例に盛り込むことがポイント
- ☆ 中身の濃い議論のために講習会・研修会等の盛り込みを
- ☆ 自治会への質問などの勉強会を開催してもよいのでは

☆市民への広がり・巻き込みについて

- 市民を巻き込んでのワークショップを
- 一般市民が条例をつくることに興味をもったり、参加できるイベント的な公開会議を
- 市民に興味を持ってもらうために会議ごとにかわら版を作成
- 市のホームページは、よりもっと楽しく見てもらえる発信を
- 市民会議の記録（映像・画像・資料など）はどうするの？
- 行政依存の背景の中で協働のまちづくりに理解と協力が得られるのか不安
  - 市民の意見をいつどのように聞くのか、どこまで条例に盛り込むのか？
  - 無関心な市民への情報公開はどのように補うの？



☆ 研修後のアンケートでの意見

☆市民会議について

- 着実な議論の積み上げを
- 限られた時間を有効に使えるように取りまとめをしっかりとしてほしい
- 柔軟なスケジュールで、委員全員が納得した条例づくり
- 市民会議のルールが必要
- 意識共有のための即興記録
- グループ討議で議論を深めたい
- この出会いを大切に意見をぶつけ、場を一緒に作りたい
- 非公開の自由討論の場が必要
- 資料の読み込みなどの自主勉強会開催
- 行政は委員会への丸投げではなく熟考を
- 重要で大変な作業、委員総力で！行政側も十分な資料提供と指導を
- どの程度どの範囲で委員会が提起できるのか分かれば、資料の準備に身が入る
- 条例作成のために何から手をつけるの？入りかたが理解できてない。
- 協働の概念がきちんと説明できる自分になりたい
- ☆行政・議会に対して
  - 協働推進課以外の行政の人や、議会の方も参加できる機会があればいい。
  - お役所選手・議会選手が取り組まれる役割や責務を知りたい
  - 担当課以外の職員も同じ気持ちの温度で取り組めるのかな？

☆勉強していきたいこと

- 他自治体の条例策定の背景とその後
  - ・ニセコの呪縛って？
  - ・ニセコの先見性って？
  - ・条例策定後の効果や住民意識の変化
- ・策定にあたってのプロセス・重点
- ・コミュニティを深める要素を盛り込んである条例は？
- ・理念型・具体的型どちらを選択したほうがよいのか？
- ・自治条例・まちづくり条例と協働のまちづくりの接点
- ・条例の作り方・手順・配慮
- 山口市の現状・計画・課題
  - ・市の総合計画等の方針
  - ・既にできている条例
  - ・従来の条例で対処できない部分
  - ・行政独自の課題解決に向けての方策の資料
  - ・旧1市4町を含めた条例にしていくためにはいかに考える？
  - ・民との協働の現状と成果、評価
- その他
  - ・住民投票について
  - ・今活動しているNPOについて
  - ・協働社会について
  - ・新しい公共

プロセス検討会の思い・・・

限られた時間でほんとに中身のある議論ができるの？なにから始めるの？行政はどう関わるの？正副会長ほんとに大丈夫？とあらゆる思いが届いています。不安かもしれませんが、市民会議の中でボトムアップで積み上げていく姿勢が、新しいまちづくりの風になると考えています。可能な限りプロセス検討会（8/3、20開催済）を開催し、会議の内容や会議後のアンケートを基に、活発な会議・確実な積み上げに務めていきます。